

受賞者紹介 子どもたちの“こころを育む活動”の応募の中から、学校と関わりながら、地域・家庭・企業などさまざまな立場の人が行う活動であることや、3つの工夫(進め方の工夫、連携の工夫、継続の工夫)について総合的に審査・選考し、他団体の参考となり、広く紹介すべき活動を表彰しています。



長野市立城東小学校(長野県)

〒380-0803 長野県長野市三輪6丁目14番30号
【TEL】026-234-1226 【FAX】026-234-1227
【E-mail】jyotojs@nagano-ngn.ed.jp
【代表者】中村 和雄(校長) 【担当者】中沢 英明(教頭)
【HP】http://www.nagano-ngn.ed.jp/jyotojs/

「発足会」では、両校児童が各学年ごとに工夫してレクリエーションなどを行い、仲良くなっていきます。



活動テーマ **共に学ぶ長野ろう学校との41年目の交流活動 ～共生社会の形成に向けて6年間の継続交流～**

活動概要 城東小学校では、1976年から長野ろう学校の子どもたちとの交流活動を始め、2017年で41年目を迎えました。人間性豊かな人格形成を目指した交流活動は、日頃の授業やクラブ活動、遠足や運動会など、学年ごとに6年間継続することで、自然に相手を理解し思いやるこころが育まれています。

3つの工夫

進め方の工夫

両校職員が目的を共有し、より良い進め方を話し合っています。また、障がい者研修で学び、特性を伝え合って指導しています。

連携の工夫

年間計画立案時から両校で行事等をすりあわせ、仕事を分担し検討を重ねて進行しています。PTAの協力が連携を支えています。

継続の工夫

年度末に両校で活動を振り返って共通の認識を持ち、さらに児童の願いも大切にしながら次年度の活動に活かしています。

参加者の声

- 耳が聞こえにくいので、組体操の練習がやり辛いときがあったと思うけど、協力し合い本番はうまくいき、ろう学校の人とやりきれて良かった。(5年生)
- 人と人が接する中で大切なことは、相手を理解し自然体で接すること。(6年生)

審査講評 41年という活動期間の長さ、交流が日常的な活動である点がすばらしく、先生が変わっても継続して活動できていることが高評価となりました。子どもたちには、6年間継続する多様な活動で豊かなこころが育まれており、共生社会に向けて他でも取り組んでほしい内容です。

優秀賞

やかげ小中高こども連合YKG60(岡山県)

〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛2543-1
【TEL】090-9508-7728
【E-mail】yakagetokt@yahoo.co.jp 【代表者】井辻 美緒(共同代表) 【担当者】川上 公一(事務局)
【HP】https://www.facebook.com/YKG60/?fref=ts

活動テーマ **こどもが主役のまちづくり**

活動概要 子どもたちが地域を支える社会人となるよう育成しながら、中山間地域の地域おこしを進める「こどもが主役のまちづくり」を展開しています。大人がレールを引かず、小学生から高校生までが集まって自ら考え、失敗も含めて体感し、協力し合って成長していくことを目指しています。
※YKG60:町政60周年の2014年に子どもたちが決めた団体の略称。YAKAGEのYKG、町政60周年の60。

審査講評 年代に開きがある小学生から高校生までが縦につながる事例は全国でも珍しく、特色といえます。また、大人ではなく、子どもたちが自ら企画・運営すること、それが子どものための行事ではなく、地域のための活動であることも高く評価されました。



自分たちで考えた地域ブランド商品「やかっぴーかきごおり」を販売する子どもたち。

優秀賞

社会福祉法人 宇多津町社会福祉協議会(香川県)

〒769-0200 香川県綾歌郡宇多津町1900番地
【TEL】0877-49-0287
【E-mail】u_shakyo.f@w6.dion.ne.jp 【代表者】谷川 俊博(会長) 【担当者】藤沢 英明(総務グループ長)
【HP】http://utazushakyo.org/

活動テーマ **『ボランティア銀行』事業**

活動概要 宇多津町社会福祉協議会では、町内の小・中学生を対象に「ボランティア銀行」事業を運営しています。小・中学生がボランティア活動をすると、ボランティア通帳に「ハート」という単位が貯まり、1ハート=1円で町をよくする活動の財源として寄付できます。

審査講評 ボランティア活動をして貯めたポイントは、町をよくするために使うことはできるが、自分たちのためには使えないというルールがユニークです。ボランティア活動をするだけでなく、子どもたちに町をよくすることを考えさせる点が高く評価されました。



児童・生徒がボランティアをすると通帳に記帳してもらえます。

奨励賞

特定非営利活動法人 あおもり若者プロジェクト クリエイト(青森県)

〒038-0015 青森県青森市千刈1-3-1
【TEL】080-1808-3018 【E-mail】office@aocre.com
【代表者/担当者】久保田 圭祐(理事長) 【HP】https://www.aocre.com

活動テーマ **クリエイトまち塾 ～まちでの挑戦を通じて 故郷を知る、未来を拓く～**

活動概要 高校生を対象に、地域の社会資源である「商店街」に介在する人材や資材を生かして、通年型社会教育プログラム「クリエイトまち塾」を実施しています。

審査講評 高校生の取り組み事例は少ない中、地域活性化に「教育」の視点をプラスし、若者が高校生を積極的に育てる点が特長的です。活動の舞台を地域の商店街に設定し、若い世代ならではの視点でアイデアを出し、商店街の経済活性化につなげている点も高く評価されます。



商店主が担任役となり商店街や地域の面白さをじかに伝える「ホームルーム」。

奨励賞

恵那市立串原小学校・中学校(岐阜県)

〒509-7831 岐阜県恵那市串原4083-2
【TEL】0573-52-2500 【E-mail】kushihara-j@ena-gif.ed.jp
【代表者】西田 拓郎(校長) 【担当者】水野 宏也(教諭) 【HP】https://www.ena-gif.ed.jp/kushihara-j

活動テーマ **小さな学校 大きな教育～ふるさとコミュニティによる小中一貫ふるさと教育～**

活動概要 1981年より「小さな学校、大きな教育」を研究・実践のテーマにして、ふるさとコミュニティによる小中一貫ふるさと教育を展開し、自然や伝統文化を継承しています。

審査講評 少人数の小中一貫校という特徴を生かした好モデルで、地域に根付く活動を長年継続している点は高く評価されます。子どもたちが山間地の伝統文化を守り抜く中核的な役割を果たしており、大きな社会でも通用する表現力の育成にもつながっています。



串原中は県重要無形文化財「中山太鼓」を受け継ぎ、県太鼓まつりや文化祭などで披露しています。

奨励賞

一般社団法人 四日市大学エネルギー環境教育研究会(三重県)

〒512-8045 三重県四日市市童生町1200番地
【TEL】059-363-1414 【E-mail】info@yokkaichi-ene.com
【代表者】新田 義孝(会長) 【担当者】矢口 芳枝(副会長兼事務局長) 【HP】http://www.yokkaichi-ene.com/

活動テーマ **ESDアクティブ・ラーニングによる出前授業～学校教育、社会教育で、持続可能な社会のための“人づくり”～**

活動概要 地球環境が改善に向かうためには、グローバルな「環境人財」の育成が基本と考え、学校教育、社会教育の現場でESD(持続可能な開発教育)を行っています。

審査講評 公害を乗り越えた歴史を持つ四日市ならではの取り組みとして、独自性が感じられます。環境問題について研究するだけでなく、その成果をもとに地域で社会教育や学校教育を行い、環境意識の高い人財を育成するという地元還元型のアプローチがユニークです。



学校への出前授業「空気の汚れを知ろう」。その他にも多数のプログラムを提供しています。

奨励賞

登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会(奈良県)

〒631-0001 奈良県奈良市北登美ヶ丘1-1-1 登美ヶ丘北中学校内
【TEL】0742-43-0176 【FAX】0742-49-0178 【E-mail】Kitutuki114@hotmail.com
【代表者/担当者】村内俊雄(会長) 【HP】http://tomikita.main.jp/

活動テーマ **とみきたスクール**

活動概要 日本初の「ひつじの放牧」をはじめ、ユニークな講座で学ぶ「とみきた塾」や「サマーセミナー」など、地域ぐるみで子どもに「生きる力」を育む活動です。「カレンダーアプリの導入」も日本初。

審査講評 動物の飼育でこころを育む日本初の取り組み「ひつじの放牧」など、地域性を活かした豊かなアイデアで多様なプログラムを展開している点を高く評価しました。また、地域協働をコミュニティの側から仕掛けているところも良いと思います。



「ひつじの放牧」を通して、子どもたちは地域の人々とふれあい、命の大切さを学んでいます。

奨励賞

志免町立志免南小学校(福岡県)

〒811-2208 福岡県糟屋郡志免町大字吉原556 【TEL】092-936-1900 【FAX】092-936-1700
【E-mail】Ms-minami@shime.ed.jp 【代表者】小南 裕彦(校長) 【担当者】深田 剛(教頭)
【HP】志免南小学校 http://www.town.shime.lg.jp/site/ms/ ふれあいの部屋(社会福祉法人 柚の木福祉会 福祉創造塾) https://yuzunokifukushikai.wixsite.com/fureai

活動テーマ **共に生きる ～心のバリアフリー～**

活動概要 志免南小学校には、空き教室を活用した障がい者作業施設「ふれあいの部屋」があり、年間を通してさまざまな活動で児童たちと施設を利用する方々との交流が深められています。

審査講評 学校の空き教室に福祉施設を設置したことで、子どもと施設利用者が日常的に自然な形で交流できる活動です。イベント型でなく、日常を重視した取り組みを評価しました。インクルーシブ教育の実践モデルとして広がり期待できるすばらしい取り組みです。



校内で日常的に障がい者の方とふれあう児童たちには、共生のこころが自然に育まれています。